資料｜3

セグメント情報

※　2026年4月1日付にて一部セグメントの区分方法の変更に伴い、前期の公表数値を変更しております

自動車

業績サマリー

(億円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	301	**336**	+35
販管費	▲ 300	**▲ 326**	▲26
持分法投資損益	7	**15**	+8
当期純利益	8	**0**	▲8
	26/3末	**26/9末**	**前期末比 増減**
総資産	3,485	**3,549**	+64

（当期純利益）

前年同期比増減要因

- 中南米自動車販売事業の利益貢献
- 一方、豪州中古車事業の不調及び、構造改革事業に係る費用計上等により減益

27/3期の見方
修正見通し　0億円　進捗率 -%

- 中南米自動車販売事業の利益貢献はあるも、構造改革に伴う費用を織り込み見通しを下方修正

〔既存事業の立て直しの状況〕
(豪州中古車事業)

- 中東情勢による燃料価格上昇、金利上昇による消費者の購買力低下等の外部環境の悪化等を受け、中古車販売台数が落ち込む
- 立て直しに取り組む販売拠点における利益率は改善傾向
  引き続き、オペレーション改善に取り組む

（総資産）

前期末比増減要因

- 主に自動車販売事業への出資による増加（コスタリカ：VEINSA社）

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26見通し		Next Stage
当期純利益	▲53億円	0億円	･･･	150億円

	FY25実績	中計2026ターゲット		Next Stage
CROIC	4.1%	8.0%	･･･	8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

中南米自動車販売事業　利益目標　FY26　50億円　Next Stage　100＋億円

勝ち筋

周辺地域に根差し培った人材とノウハウをテコに成長力を持つニッチ市場で、地域ドミナントの構築に向けリソースを集中投下し、広範なバリューチェーンで優位性を築く

取組状況

- プエルトリコ、ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラでの事業経営を通じて獲得した知見・経験・人材を活用し、パナマでKia、Mazda、現代を中心とした自動車販売事業を展開
- 知見のある中南米地域でのカタマリ構築の取り組みとして、コスタリカのマルチディストリビューター（VEINSA社）へ出資を実行

Copyright © Sojitz Corporation 2026

自動車

主要事業の状況（実力値ベース）

（億円）	26/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	27/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同期比 (2Qまでの累計増減)	主な展開国
自動車販売事業（地域別）												
-日本・アジア地域	▲3	▲2	▲1	▲4	**▲10**	1	**1**	—	—	**2**	+7	日本、フィリピン、パキスタン 等
-大洋州地域	▲4	▲3	▲5	▲5	**▲17**	▲6	**▲5**	—	—	**▲11**	▲4	豪州 等
-北米地域	6	3	9	8	**26**	6	**5**	—	—	**11**	+2	米国、プエルトリコ 等
-中南米地域	7	16	15	15	**53**	8	**11**	—	—	**19**	▲4	パナマ、ブラジル、アルゼンチン 等
-欧州地域	▲3	0	0	1	**▲2**	▲1	**1**	—	—	**0**	+3	ノルウェー、ウクライナ 等
（一過性損益）	0	15	0	▲70	**▲55**	0	**0**	—	—	**0**	▲15	
本部 当期純利益	▲4	12	6	▲67	**▲53**	▲3	**3**	—	—	**0**	▲8	

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの

Copyright © Sojitz Corporation 2026

航空・交通インフラ

業績サマリー

(億円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	141	**124**	▲17
販管費	▲ 92	**▲ 100**	▲8
持分法投資損益	21	**61**	+40
当期純利益	105	**67**	▲38

	26/3末	26/9末	前期末比 増減
総資産	4,539	**4,995**	+456

（当期純利益）

前年同期比増減要因

- 豪州公共交通事業の利益貢献開始
- 海外工業団地事業での引き渡しの増加
- 一方、前年同期に計上した貨車リース事業の一部売却に伴う利益の反動等により減益

27/3期の見方
見通し　190億円　進捗率 35%

- 新規投資からの利益貢献に加え、海外工業団地事業や航空機関連取引、防衛関連取引等の伸長を見込む

（総資産）

前期末比増減要因

- 主にJIA株式の新規取得及び航空機関連取引の増加等により増加

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26見通し		Next Stage
当期純利益	155億円	190億円	･･･	250億円

	FY25実績	中計2026ターゲット		Next Stage
CROIC	6.2%	6.0%	･･･	8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

航空関連事業

勝ち筋

ワールドクラスのパートナー群との多岐に渡る事業基盤に高度な専門人材を掛け合わせ事業を展開。変化する航空市場の先を読み、次なる収益機会を創出し続ける

取組状況

- 代理店ビジネスを起点に、アセットビジネス、更にオペレーションビジネスへ事業展開
- 防衛関連の需要の取り込み
- ビジネスジェット共同保有プロジェクトの機体数拡大

Copyright © Sojitz Corporation 2026

航空・交通インフラ

New way, New value

主要事業の状況（実力値ベース）

（億円）	取込比率	26/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	27/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同期比（2Qまでの累計増減）	事業内容	決算期
輸送機アセマネ事業	–	12	12	10	17	**51**	8	**6**	—	—	**14**	▲10	航空機代理店事業、 航空機リース事業、船舶事業 等	–
ビジネスジェット事業	–	2	7	8	3	**20**	1	**0**	—	—	**1**	▲8	機体売買支援、運航管理、 チャーター、 ビジネスジェット共同保有事業	–
豪州・アジア鉄道事業	–	▲1	1	▲1	0	**▲1**	7	**12**	—	—	**19**	+19	アジア交通EPC（インド・インドネシア）、 豪州公共交通事業	–
産業都市インフラ事業														
-PT. Puradelta Lestari Tbk	25%	8	2	2	6	**18**	19	**8**	—	—	**27**	+17	住宅・工業・商業団地の 総合都市インフラ開発、運営 （インドネシア）	12月
双日エアロスペース	100%	5	10	5	11	**31**	7	**12**	—	—	**19**	+4	航空・防衛産業関連機器の 輸出入・販売	3月
（一過性損益）		0	10	0	▲5	**5**	0	**5**	—	—	**5**	▲5		
本部　当期純利益		31	74	19	31	**155**	34	**33**	—	—	**67**	▲38		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/9末時点のものを記載

Copyright © Sojitz Corporation 2026

エネルギー・総合インフラ

業績サマリー

(億円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	271	**460**	+189
販管費	▲ 252	**▲ 388**	▲136
持分法投資損益	80	**95**	+15
当期純利益	79	**141**	+62
	26/3末	26/9末	前期末比 増減
総資産	7,386	**7,713**	+327

（当期純利益）

前年同期比増減要因

- 米国エネルギーソリューション関連事業の取引増加
- 豪州インフラ開発事業（Capella社）の新規連結
- 北米ガス火力発電事業の資産入替による利益貢献

27/3期の見方
見通し　280億円　進捗率 50%

- 米国エネルギーソリューション関連事業の伸長、豪州インフラ開発事業（Capella社）からの堅調な利益貢献を見込む

（総資産）

前期末比増減要因

- 主に新規連結子会社取得による増加（Deca社：米国Freestate社によるボルトオン投資）

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26見通し	Next Stage
当期純利益	323億円	280億円	･･･ 500億円

	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	5.7%	4.0%	･･･ 6.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

エネルギーソリューション事業

利益目標 FY26 100億円 Next Stage 200＋億円

勝ち筋

電力・インフラ事業で培った知見・人材を活かし、米豪の省エネやデータセンター関連サービスへシフトし、新たな収益機会を獲得。
ロールアップ投資で機能・顧客基盤を拡張し、事業規模を拡大

取組状況

- 高まるエネルギー需要と共に、省エネルギーのニーズは着実に伸長。
  エネルギーソリューション事業確立に向けた強固な基盤構築を推進し、豪州でも同様に展開
- 米国Freestate社によるボルトオン投資（Deca社）を実行し、電気工事・制御システム系サービスの機能を強化

豪州インフラ開発事業（Capella社）

利益目標 FY26 50億円 Next Stage 100＋億円

勝ち筋

豪州PPP領域において、高度専門人材による質の高い、効率的なインフラ事業の組成、価値の提供、安定した事業運営を実現し、その実績と信頼により更なる事業機会を獲得する。豪州外への展開により事業基盤を拡張し、成長を加速

取組状況

- 26/3期中より、Capella社の連結取込を開始。豪州国内の複数のPPP案件の取組みを検討中。
  これに加えて、海外事業展開についても協議中

Copyright © Sojitz Corporation 2026

エネルギー・総合インフラ

主要事業の状況（実力値ベース）

（億円）	取込比率	26/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	27/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同期比 (2Qまでの累計増減)	事業内容	決算期
インフラ・PPP事業														
-Sojitz Capella Corporation B.V.	95.5%	—	—	3	23	**26**	13	**11**	—	—	**24**	+24	インフラ開発、財務アドバイザリー、資産管理業務（豪州）	12月
-Sojitz Hospital PPP Investment B.V.	100%	5	4	5	11	**25**	5	**4**	—	—	**9**	0	病院施設運営事業への投融資（トルコ）	12月
エネルギーソリューション事業														
-省エネ関連事業	–	11	23	18	24	**76**	24	**49**	—	—	**73**	+39	海外省エネ関連事業（北米、豪州）	–
-電力小売事業	–	0	3	2	4	**9**	5	**6**	—	—	**11**	+8	電力小売事業（スペイン、アイルランド、豪州）	–
-再生可能エネルギー事業	–	27	8	▲18	12	**29**	29	**▲2**	—	—	**27**	▲8	国内外再生可能エネルギー事業	–
-火力発電事業	–	▲3	3	7	▲2	**5**	6	**3**	—	—	**9**	+9	米国、中東 等	–
双日マシナリー	100%	4	14	11	15	**44**	6	**7**	—	—	**13**	▲5	一般産業機械類の輸出入・販売	3月
エルエヌジージャパン	50%	29	10	14	26	**79**	13	**5**	—	—	**18**	▲21	LNG事業及び関連投融資	3月
（一過性損益）		0	0	120	20	**140**	0	**25**	—	—	**25**	+25		
本部　当期純利益		44	35	134	110	**323**	69	**72**	—	—	**141**	+62		

※ 再生可能エネルギー事業、火力発電事業、省エネ関連事業は、関連の主要事業会社の損益合算値を記載
※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益等から一過性損益を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/9末時点のものを記載

Copyright © Sojitz Corporation 2026

金属・資源・リサイクル

業績サマリー

(億円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	45	**72**	+27
販管費	▲ 65	**▲ 74**	▲9
持分法投資損益	86	**87**	+1
当期純利益	69	**95**	+26

	26/3末	26/9末	前期末比 増減
総資産	4,850	**4,851**	+1

（当期純利益）

前年同期比増減要因

- 原料炭事業の構造改革に伴う損益等による増益

27/3期の見方
見通し　220億円　進捗率 43%

- 構造改革による赤字の改善に加え、既存事業からの利益貢献を見込む

（総資産）

前期末比増減要因

- 概ね前期末並み

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26見通し		Next Stage
当期純利益	38億円	220億円	…	350億円

	FY25実績	中計2026ターゲット		Next Stage
CROIC	7.7%	15.0%	…	12.0%

Copyright © Sojitz Corporation 2026

金属・資源・リサイクル

主要事業の状況（実力値ベース）

（億円）	取込比率	26/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	27/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同期比 (2Qまでの累計増減)	事業内容	決算期
Sojitz Development Pty. Ltd.	100%	▲ 8	▲ 2	▲ 4	1	**▲ 13**	1	**▲ 7**	—	—	**▲ 6**	+4	石炭鉱山への投資（豪州）	3月
メタルワン	40%	24	26	31	28	**109**	28	**29**	—	—	**57**	+7	鉄鋼関連商品の輸出入、外国間及び国内販売等（日本）	3月
上流権益	–	9	21	23	6	**59**	0	**23**	—	—	**23**	▲7	アルミナの製造、アルミナ生産会社への投資（豪州） ニオブ生産会社への投資・管理（ブラジル）等	–
（一過性損益）		0	0	0	▲ 130	**▲ 130**	▲ 5	**25**	—	—	**20**	**+20**		
本部　当期純利益		31	38	48	▲ 79	**38**	21	**74**	—	—	**95**	+26		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/9末時点のものを記載

Copyright © Sojitz Corporation 2026

化学

業績サマリー

(億円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	367	**589**	+222
販管費	▲ 207	**▲ 241**	▲34
持分法投資損益	0	**2**	+2
当期純利益	106	**201**	+95
	26/3末	**26/9末**	**前期末比 増減**
総資産	3,975	**4,451**	+476

（当期純利益）

前年同期比増減要因

- メタノール価格の上昇による影響
- 日本エイアンドエルの利益貢献
- 国内外トレードの堅調な推移等により大幅増益

27/3期の見方
修正見通し　320億円　進捗率 63%

- 上期までの各事業での好調な進捗を踏まえ、見通しを220億円から+100億円上方修正

（総資産）

前期末比増減要因

- メタノール価格の上昇や、トレード取引増加等に伴い、営業債権等が増加

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26見通し		Next Stage
当期純利益	210億円	320億円	･･･	350億円

	FY25実績	中計2026ターゲット		Next Stage
CROIC	12.1%	10.0%	･･･	12.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

化学事業

利益目標　FY26　320億円　Next Stage　350＋億円

勝ち筋

先読み力と顧客基盤を活かしトレード機能を強靭化することで安定収益を創出
トレードで得た知見を基に投資を拡大し、トレードとの相乗効果で競争力を高める

取組状況

- 日本エイアンドエルの連結子会社化により、新たに製造事業に参入
- レアアース取引など顧客のサプライチェーン維持のための調達ソース多角化を過去より推進
- 中東情勢の影響を受けたサプライチェーン分断下でも、トレード強靭化の取り組みが奏功

Copyright © Sojitz Corporation 2026

化学

主要事業の状況（実力値ベース）

（億円）	取込比率	26/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	27/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同期比 (2Qまでの累計増減)	事業内容	決算期
PT. Kaltim Methanol Industri	85%	11	10	9	1	**31**	35	**26**	—	—	**61**	+40	メタノールの製造・販売（インドネシア）	3月
日本エイアンドエル	66.5%	—	7	8	1	**16**	10	**16**	—	—	**26**	+19	SBRラテックスならびにABS樹脂等の製造・販売・研究開発	3月
双日プラネット	100%	2	2	4	5	**13**	7	**6**	—	—	**13**	+9	合成樹脂原料・製品等の貿易・販売	3月
Sojitz SOLVADIS GmbH	100%	5	2	2	1	**10**	12	**2**	—	—	**14**	+7	欧州地域における化学品の貿易・販売	3月
トレード（国内拠点）	–	13	19	29	21	**82**	35	**24**	—	—	**59**	+27	基礎化学品、機能化学品、環境関連商材 工業塩、レアアース、鉱産物等	–
トレード（海外拠点）	–	8	9	10	11	**38**	16	**17**	—	—	**33**	+16	海外現地法人における化学品全般・ 合成樹脂・鉱産物トレード事業	–
（一過性損益）		10	▲5	0	0	**5**	▲5	**▲5**	—	—	**▲10**	▲15		
本部　当期純利益		58	48	61	43	**210**	111	**90**	—	—	**201**	+95		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は26/9末時点のものを記載

Copyright © Sojitz Corporation 2026

生活産業・アグリビジネス

業績サマリー

(億円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	237	**207**	▲30
販管費	▲ 154	**▲ 151**	+3
持分法投資損益	12	**12**	0
当期純利益	57	**38**	▲19

	26/3末	26/9末	前期末比 増減
総資産	3,341	**3,206**	▲135

（当期純利益）

前年同期比増減要因

- 海外肥料事業での取扱数量の減少により減益

27/3期の見方
修正見通し　80億円　進捗率 48%

- 上期までの海外肥料事業の実績を踏まえ見通しを130億円から▲50億円下方修正

（総資産）

前期末比増減要因

- 概ね前期末並み

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26見通し		Next Stage
当期純利益	85億円	80億円	･･･	200億円

	FY25実績	中計2026ターゲット		Next Stage
CROIC	6.1%	10.0%	･･･	12.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

東南アジア肥料事業

利益目標　FY26　70億円　Next Stage　140＋億円

勝ち筋

タイ・フィリピン・ベトナムにおける高度化成肥料事業の競争優位を基盤に、
既存事業の強化・成長および横展開により販売数量の増加を図る

取組状況

- 原料購買力の強化および製品品質・製造効率の向上
- データ活用による販売力強化および営業高度化

Copyright © Sojitz Corporation 2026

生活産業・アグリビジネス

主要事業の状況（実力値ベース）

（億円）	取込比率	26/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	27/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同期比 (2Qまでの累計増減)	事業内容	決算期
肥料事業														
-Thai Central Chemical Public Company(TCCC)	95.3%	28	18	7	7	**60**	21	**12**	—	—	**33**	▲13	肥料の製造・販売（タイ）	3月
-Atlas Fertilizer Corporation(AFC)	100%	5	2	1	2	**10**	2	**2**	—	—	**4**	▲3	肥料の製造・販売、輸入肥料販売（フィリピン）	3月
-Japan Vietnam Fertilizer Company(JVF)	75%	4	1	1	2	**8**	1	**1**	—	—	**2**	▲3	肥料の製造・販売（ベトナム）	3月
双日建材	100%	3	3	3	1	**10**	2	**2**	—	—	**4**	▲2	総合建材販売	3月
Saigon Paper	97.7%	▲1	▲1	1	1	**0**	0	**▲2**	—	—	**▲2**	0	製紙事業（ベトナム）	12月
双日食料	100%	7	7	6	5	**25**	9	**5**	—	—	**14**	0	砂糖・糖化製品・乳製品・農畜水産物・加工食品・その他各種食料品の販売	3月
（一過性損益）		0	0	0	0	**0**	0	**0**	—	—	**0**	0		
本部　当期純利益		35	22	11	17	**85**	27	**11**	—	—	**38**	▲19		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は、26/9末時点のものを記載
※ 当社主要関係会社のうち、右記の上場会社については、各社ホームページをご参照：フジ日本(株)　(持分)

※ 肥料事業の特徴は以下の通り
TCCC：最終需要家のコメ農家は雨季が施肥タイミングとなり、上期に利益が偏重
AFC：主要作物のコメ、コーンは二期作のため、上期・下期共に肥料需要がある
JVF：主要作物のコメ、コーヒー、サトウキビ向けを中心に上期・下期共に肥料需要がある

Copyright © Sojitz Corporation 2026

リテール・コンシューマーサービス

業績サマリー

(億円)	25/9期 実績	26/9期 実績	前年同期比 増減
売上総利益	287	**375**	+88
販管費	▲ 245	**▲ 270**	▲25
持分法投資損益	5	**15**	+10
当期純利益	19	**84**	+65

	26/3末	26/9末	前期末比 増減
総資産	6,484	**6,693**	+209

（当期純利益）

前年同期比増減要因

- 煙草取引及びベトナム業務用食品卸売事業の好調な進捗
- 一部事業（繊維事業）の売却に伴う利益

27/3期の見方
見通し　150億円　進捗率 56%

- 水産事業や国内リテール事業からの利益貢献を見込む
- 一部資産入替を見込む

（総資産）

前期末比増減要因

- 主に煙草取引における営業債権等の増加

双日らしい成長ストーリーの実現

	FY25実績	FY26見通し	Next Stage
当期純利益	112億円	150億円	··· 300億円

	FY25実績	中計2026ターゲット	Next Stage
CROIC	3.6%	6.0%	··· 8.0%

双日らしい成長ストーリー実現に向けた取り組み状況

ベトナムリテール事業

利益目標　FY26　30億円　Next Stage　80＋億円

勝ち筋

**市場成長が見込まれる同領域において、卸売から総菜、倉庫事業など
リテールバリューチェーンを強化**

取組状況

- 事業全般での抜本的なアプローチの見直しを継続中
- ベトナム業務用食品卸売事業では、利益率改善等により業績が改善

水産事業

利益目標　FY26　50億円　Next Stage　80＋億円

勝ち筋

**日本における調達・加工・販売基盤に、NESIが持つ欧州地域での
調達・販売ネットワーク、商品企画・開発力・マーケティング力を掛け合わせ、
当社グループの水産事業領域における利益規模拡大・収益性向上を加速**

取組状況

- 国内水産卸売事業、水産加工販売事業は引き続き堅調に推移
- 2026年10月に英国の水産物加工・販売会社NESI社などを買収

Copyright © Sojitz Corporation 2026

リテール・コンシューマーサービス

主要事業の状況（実力値ベース）

（億円）	取込比率	26/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	27/3期実績 1Q	2Q	3Q	4Q	累計	前年同期比（2Qまでの累計増減）	事業内容	決算期
ベトナムリテール事業	–	1	1	3	2	**7**	8	**7**	—	—	**15**	+13	食品・消費財卸売、ミニストップベトナム、四温度帯物流、惣菜加工品製造 等	–
-卸売事業	–	3	2	3	3	**11**	9	**7**	—	—	**16**	+11	食品・消費財卸売	–
-小売事業	–	▲1	▲1	▲1	0	**▲3**	▲1	**1**	—	—	**0**	+2	ミニストップベトナム	–
国内リテール事業	–	9	9	11	7	**36**	8	**9**	—	—	**17**	▲1	ロイヤルHD、双日ロイヤルインフライトケイタリング、JALUX等	–
水産事業	–	5	9	24	8	**46**	7	**11**	—	—	**18**	+4	マリンフーズ、トライ産業、大連翔祥、双日ツナファーム鷹島、Sushi Avenue	–
-マリンフーズ	100%	2	7	13	2	**24**	2	**5**	—	—	**7**	▲2	水産食品加工会社	3月
-トライ産業	100%	2	3	5	3	**13**	3	**3**	—	—	**6**	+1	冷凍マグロ加工販売会社	3月
国内不動産事業	–	2	2	4	2	**10**	1	**1**	—	—	**2**	▲2	商業施設運営事業、バリューアップ事業等	–
双日ファッション	–	2	2	1	1	**6**	2	**1**	—	—	**3**	▲1	綿・化合繊維物等のプリント、無地・先染等の企画加工卸売販売	3月
（一過性損益）		5	0	5	0	**10**	0	**15**	—	—	**15**	+10		
本部　当期純利益		9	10	45	48	**112**	43	**41**	—	—	**84**	+65		

※ 実力値＝各事業会社／各事業の損益から一過性損益等を控除したもの
※ 本部 当期純利益＝一過性を含むセグメント当期純利益を四半期展開したもの
※ 比率は、26/9末時点のものを記載
※ 当社主要関係会社のうち、右記の上場会社については、各社ホームページをご参照：ロイヤルホールディングス(株)（持分）

Copyright © Sojitz Corporation 2026



New way, New value